

レオナ™ PA / ザイロン™ m-PPE 多層パイプ



開発中

低溶出、二次加工性に優れる設計で
トータルコストダウンを実現

▶ Target: EV・FCV用水冷式パイプ

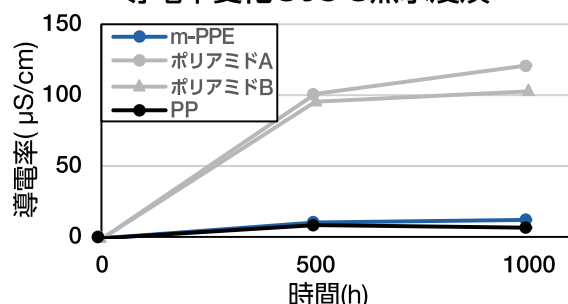


ユーザーメリット

▶ 低溶出性

内層のm-PPEは低イオン溶出であり、
電気伝導率の変化を抑えられます。

導電率変化@95℃熱水浸漬



▶ 優れた曲げ加工性

内層にm-PPEを用いることで高温で加工でき、
使用環境下での曲げ戻りが小さいです。

90°に加工後、80℃ 24時間処理

項目	PA / PP 2層パイプ	PA / m-PPE 2層パイプ
加工温度	150℃	195℃
曲げ戻り角度	127°	93°
角度差△	+37°	+3°

お客様からの声

- ▶ 多層パイプでありながら曲げ加工性が良いため、
加工費のコストダウンが期待できる
- ▶ 溶出性が良い材料であるため、FCV用イオン
交換樹脂の交換頻度を下げられる事が
期待できる

採用実績

- ▶ 開発中のため実績なし
- ▶ EV、FCVなど、冷却水の低伝導性が
求められる用途の冷却配管を想定

その他製品情報

競争優位性	ポリアミド単層と比べて、溶出性に優れる PA / PP多層パイプと比べて曲げ加工性に優れる
サステナビリティ	外層PAでバイオ原料由来のグレードを開発中
背反懸念事項	PA / PP多層パイプと比べて材料コストアップ